

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2073300176		
法人名	有限会社 あぐり		
事業所名	ゆうあいの家 桜		
所在地	下高井郡山ノ内町戸狩376-3		
自己評価作成日	令和3年7月20日	評価結果市町村受理日	令和3年9月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhou_detail_022_kan=true&amp;ijyogyoCd=2073300176-006&amp;ServiceCd=3204&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhou_detail_022_kan=true&amp;ijyogyoCd=2073300176-006&amp;ServiceCd=3204&amp;Type=search</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和3年8月3日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>(1) 入居者一人ひとりの願いや思いを汲み取り楽しみのある生活ができるように支援している。          ・個別の希望やその人の人生経験を知り、それに基づいた日常生活・特別活動を実施している。          ・コロナ禍により地域交流やボランティアの出入りができなくなっているため、非日常的な時間の確保によりメリハリのある生活をしてもらえるようにしている。</p> <p>(2) 入居者の皆さんが安心して生活ができるよう支援している。          ・感染対策を徹底し、朝夕の環境整備など生活の清潔保持に努めている。          ・毎月火災や地震などを想定した避難訓練を入居者参加で行っている。秋には毎年地区の消防団の方との合同訓練も実施している。</p> <p>(3) 今の生活ができる限り続けて出来るよう支援している。          ・入居者一人ひとりのできることを把握し、家事作業を通し機能訓練ができるようにしている。          ・下肢筋力の低下を防ぐため、個別にその人に合った運動を取り入れ実施している。</p>
---

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>中野市と山ノ内町の境にある箱山トンネルを抜けるとリンゴ畑などの緑に囲まれた当ホームが目に入る。ホームは2001年4月、介護保険制度が始まった翌年に開設され今年20年という節目を迎えている。ホームを運営する法人はその後、地域密着型通所介護と在宅支援事業所を同じ敷地内に併設し、いずれも地域の人々にとってなくてはならない事業所となっている。法人の運営理念を基に職員全員により作ったホーム独自の「入居者一人ひとりの自立・自発性・意思を尊重し安心感と希望を持ち生き生きと生活できるようにする」という主旨の理念を掲げ、全職員がその具体化に向けて実践している。また、ホーム開設時から継続している利用者本位という基本的な姿勢を生活の信条「老いても、自分らしく毎日を楽しく暮らしたい」として示し、利用者や家族、地域人々のからも共感を得ている。例年であれば、地域の行事への参加、小学校の運動会・音楽会への招待などで地域の人々と交流しており、また、ボランティアの手による特別献立として利用者一人ひとりの力量に応じて出番のある食事作りも毎月行われていたが、新型コロナウイルス感染の影響で自粛を得ざる状況となっている。そうした中、20年にわたり築いてきた地域との関係を継続できるようにと「桜新聞」を地域の各家庭に配布しホームの活動をお知らせしている。同じく、新型コロナウイルス禍で家族との面会が難しい中、昨春秋には、隣市の公園のダリア見学に出掛けた時に現地集合で家族とふれあう機会を設けたという。新型コロナウイルス感染収束後は地域の人々との様々な交流活動を再開する予定で、利用者本人がより良く暮らすために何をすべきかという介護計画の作成時にもホーム独自の利用者目線に立った「介護計画書」と「私の支援で優先する介護計画」でその支援内容に創意と工夫を重ねており、次の、開設から30年目という節目に向けて始動している。</p>
---

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 ○ 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		